

平成26年議会報告会【7月開催】

産業常任委員会所管分

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
鬼首	人口	若い人がいなく、交流人口を増やさない と活性化しない。観光産業と若い人が働 く場を何とかしてほしい。	観光振興にも力を入れていきます。取り 組みの一つである「みやぎ大崎観光公 社」事業の中でも、さらなる活性化を図 れないか調査・提言していきます。
鬼首	地域	鳴子温泉地域には観光協会が5つある が、財源が無くパンフレットも作れない ので、活動補助金を出してほしい。	「大崎市商店街活性化推進事業」とし て、各地域の商工会などの活性化を目的 に、イベントや売り出しの経費に対し対 象経費の2分の1以上、20万円限度の補助 金もあります。 ※パンフレット作成のみは対象外 また、補助金のあり方については、調 査・検討したいと考えています。
鬼首	地域	以前は、鳴子温泉郷観光協会に、入湯税 のうち30%が入るような業務委託を交わ していた。運営費に対する助成を考えて ほしい。	運営費への助成が出来ないか、調査・検 討していきます。
鬼首	人口	人口の定住化には、イベントを繰り返す か、地域産業を興すか、行政の強い後押 しが必要と思うがどうか。	現状の事業以外に無いのか、調査・検討 します。
敷玉	人口	セントラル自動車株式会社の本社移転に 伴い、自動車関連産業に対する誘致活動 が遅れているのではないかと。若い人た ちへの働く場の供給が、地域活性化につ ながると思うがどうか。	企業誘致については、大企業が来ていな いので進捗が見えにくいと思うが、全 ての工業団地が埋まっており、今後は交通 アクセスなどが優れた北原工業団地及び 接続道整備（平成26年度～27年度・全 体開発面積5.6ha）も行う予定です。
岩出山	人口	岩出山・鳴子温泉地域の人口が激減して いる。交流人口の増加を図るべきでは。	岩出山・鳴子温泉地域には資源が多くあ ります。また、交流人口増への取り組み として、市では20万都市構想を掲げてい ます。議会では、「人口減少問題対策調 査特別委員会」と、「まちなか再生調査 特別委員会」を設置し、定住人口や交流 人口対策に鋭意取り組んでいきます。
岩出山	人口	若者は仕事がないため、仙台・東京など の都会に行って嫁をもらっても田舎に 帰ってこない。働く場の確保が一番であ ると思うが、企業誘致はどうなっている のか。	自動車関連産業も来ています。また、石 田工業団地の用地が無くなり、北原工業 団地を造成している現状です。なお、市 の担当職員からは、多くの企業は投資を 抑えるために空き工場を探していると聞 いていますが、雇用確保を前提とした企 業誘致策にも積極的に取り組んでいき ます。
岩出山	地域	本庁を充実させるより、各総合支所を充 実させてほしい。また、観光交流課は観 光の現場でもある岩出山地域に配置すべ きでは。	鳴子温泉地域からも同意見が出ており、 検討したいと思います。

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
西大崎	人口	人が集まるためには企業誘致が必要だ。なぜ、大崎市には会社がなかなか来ないのか。	企業誘致の取り組みとして、北原工業団地を造成し、平成28年度に販売予定です。市では関連企業の誘致に努力しているものの、各企業の実情としては空き工場などの中古物件を探しているようです。なお、企業誘致策は議会でも積極的に提言していきます。
			大崎市は、第二仙台北部中核工業団地がある大衡村より、用地取得費が高いことも要因だと考えています。また、今後の企業誘致のため、人材育成に努めていきます。
敷玉 岩出山 西大崎 長岡 沼部 清滝 西古川	人口 地域	若い世代の働く場を増やすことが、地域活性化につながると思うが、企業誘致活動の状況と進捗はどうか。	自動車関連企業も来ており、石田工業団地も埋まったため、今後は交通アクセスなどが優れた北原工業団地を造成する予定で進めています。また、多くの企業は空き工場などの中古物件を探していることから、情報収集・提供に努め、新たな団地造成の必要性も提言していきます。 【市議会だより第39号掲載】
西大崎	人口	企業誘致をしたくないのか。土地が高いからとか、有能な技術者が少ないとか、そんなことではだめだ。また、保育所はそんなに必要なのか。	企業誘致の契約までは、議員は入れず決定権がありません。ただし、議員・委員会活動として、企業誘致を念頭に各企業との情報交換・提供・連携に努めています。
			古川地域では児童が増加しており、大崎市全体でも待機児童の解消を図っています。また、各地域では、病院・消防・警察・公共交通も重要であり、地域人口と住民要望も配慮すべきものと考えております。
西大崎	人口	企業誘致で、土地の価格が問題ならば、安価な土地を利活用して誘致すべきでは。	企業誘致策の一環として、議会では人口減少問題に対してもしっかり取り組みます。また、企業を誘致することで働き場所の確保が出来れば、若者の定住化促進につながるので、ご意見も参考に検討・提言していきます。
			誘致企業の育成と雇用機会の確保を図るために、市と企業立地協定を締結している企業もあります。なお、ご参考までに、アルプス電気株式会社や日東電工株式会社は社員を増やしている現状です。
松山	地域	宅地分譲地である「松山駅前ライフシティ・マリス」に、商業施設が来るとの約束で移住したが約束が違う。現実に仙台方面へ引っ越した方もいる。商業用地に店舗を建設して貸し出すとか、用地を提供するなど対策をすべきでは。	現地を調査した結果、平成26年10月20日現在の造成区画計244区画のうち、残区画は12区画（商業施設4区画・一般分譲8区画）で、商業施設区画は当初の見込みで、歯科医院・パン屋・クリーニング取次店などの小規模事業所・店舗への分譲を想定していたとのことでした。食料品や生鮮食品を取り扱うスーパーなどの店舗は、駐車場スペースや区画の課題もあるものの、公設民営や用地提供なども含め、議会で調査・提言していきたいと考えています。 ○平成26年11月5日現地調査実施

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
松山	地域	宅地分譲地である松山地域のマリスに、いまだ商業施設が来ないが対策すべきでは。	ご意見を頂いた、店舗の公設民営や用地提供なども含め、調査・提言していきます。 【市議会だより第39号掲載】
長岡	地域	化女沼周辺の活性化対策では、検討委員会のメンバー構成もあり、それぞれの団体を代表しての意見が出されるのでまとまりづらいのですが、議会での取り組みの現況は。	東北自動車道長者原スマートインターチェンジの24時間化（平成26年末予定）も目前に、化女沼の景観と環境をどう維持していくべきか「化女沼湿地保全活用計画」をもとに協議中であり、沼の内外で開発が異なっている現状です。なお、産業面では、時間制限が無いことで物流の枠が外れるため、企業振興にとっての
長岡	地域	それぞれの団体の意見陳述ではなく、議論を深めてほしい。	地域振興と健康づくりなど、市民の余暇活動の方策として提起していきたい。 ○平成26年11月5日現地調査実施
長岡	地域	化女沼周辺散策として、1年に1度歩く会で利用している。周遊道路の活用策として、ノルディックウォーキングなどのスポーツで地域振興を図ればどうか。	
長岡	地域	市民に周遊道路の周知・活用を図れないか。距離を標示して、桜ノ目地区の遊歩道も合わせて利用すれば相乗効果が図れるのでは。また、不足している施設やトイレの整備が進めば、もっと市民に利用しやすくなるのでは。	「ラムサール条約湿地ロードマップ」と「化女沼周辺マップ」はありますが、さらなる周知・活用のためにご意見も参考に提言していきます。また、「化女沼湿地保全活用計画」でも、観光から持続可能なツーリズムの実現を検討するとあり、湿地の保全・管理と生態系に配慮した賢明な利用（ワイズユース）の両立を目指しながら、調査・提言していきたいと考えています。 ○平成26年11月5日現地調査実施
長岡	人口	定住人口を増やすためには、企業誘致に取り組まなければならないのではないのか。議会としてどのように取り組むつもりか。	企業誘致と子育て支援を進めています。企業誘致では、今後、北原工業団地を整備する予定ですが、これまではオーダーメイド方式で進めてきたものの、時代遅れになるので先行投資をすべきとも提言しています。
長岡	人口	企業誘致策は、議員提案で進めたほうが良いのでは。	ご意見として伺い、検討していきます。
Fプラザ	地域	水田多面的機能支払の基礎見積りに届出が必要となるが、形式的であるとすれば、領収書を区分けすることなど理由説明書を添付することなどで簡素化できないか。	旧農地・水環境保全向上対策では、5万円以上の事業は複数見積もりが必要でしたが、現事業では50万円以上に変更となり、5万円以上の事業は購入先の見積書徴収となりました。以前より改善されたものの、いまだ事務処理が大変との声もあるので、簡潔化が出来ないか要請中です。
Fプラザ	人口	工場誘致が出来ないのは、地価が高いからではないのか。	地価の問題もあるかと思いますが、ものづくり関係や食品会社などの誘致に向けて、地権者の理解を頂けるよう努力したいと考えています。
古東	人口	非正規社員の雇用問題解決を。	実態の把握に努めながら、雇用の場の確保に本気になって取り組んでいきます。
沼部	地域	国が決めた制度で、宮城県が実施していないものがある。平成26年6月13日に日本型直接支払制度が変更されたが、宮城県は取り組んでいない。議会からも県に対して要請してほしい。	国の制度に宮城県が対応していない。議会として宮城県に要望していきます。
沼部	地域	日本型直接支払制度は、国連にも報告するはずだが、宮城県で取り組まないと国連でカウントされない。是非、国にも伝えてほしい。	国・宮城県に要望していきます。

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
沼部	地域	世界農業遺産について、議会も継続して応援してほしい。	執行部と共に推進したいと考えています。
沼部	人口	誘致した企業数が少ないのでは。工業用地の拡充を望むのですが。	議会でも積極的に取り組んでいきます。
池月	地域	認定農業者だけへの施策ではなく、一般農家を支援する市独自の政策は出来ないか。	国の政策は大規模経営主体ですが、家族経営農家（少量多品目）が頑張れる政策も増やすべく努力したいと考えています。
池月	地域	遊休農地などの荒地は、小面積でも収入が上がる施策を打ち出してほしい。	遊休農地を復田すれば、1反部10,000円の助成制度もあります。秋田県では、国55%・県35%・自治体10%で畑地化推進の事業もあり、是非、ご意見のように努力したいと考えています。
池月	地域	一般農家を支援するための市独自政策や遊休農地対策はどうか。	少量多品目の家族経営農家支援も必要だと考えており、遊休農地対策での秋田県独自施策も参考に、市独自の政策提言に向け努力していきます。 【市議会だより第39号掲載】
池月	地域	減反政策で堤の手入れが十分ではなく、大きな穴が開いて歩道が削られている箇所がある。大雨による被害の恐れがあるので、岩出山地域の2行政区（特に根岸行政区）を見て対応してほしい。	市内全域でため池調査を実施していますが、その後漏れている場合もあるので、岩出山総合支所に早急な対応を要請します。
鳴子	地域	鳴子温泉の観光客数が減少している。以前、鳴子温泉は沿岸部の皆様に良くご利用頂いていたが、震災の影響が長期化した沿岸部からのお客様は低調となっている。また、震災に伴う放射能の問題もまだまだ懸念材料となっており、県外からのお客様も伸びていない。市として、この落ち込みにどう対応しようとしているのか。	宣伝費のかけ方や、補助金のあり方も検討し、鳴子峡遊歩道の復旧も急ぎたいと考えています。また、登山ブームにのった花淵山登山道の整備（東屋・展望台）や、都会でのこけしブーム再来などを観光政策にのせ、紅葉シーズンだけではなく年中来てもらえるように東の横綱としての鳴子温泉郷をさらにPRする方策を検討・提言していきます。そのためにも地元の皆様と意見交換などを行い、戦略を検討したいと考えています。
鳴子	地域	観光交流課を鳴子総合支所に置くべきでないか。観光政策は、地元と行政ががっちりタッグを組まないとなかなか進まず、他自治体に遅れを取ることになる。観光産業は、鳴子温泉地域にとって重要な産業であり、大崎市全体の観光にとっても鳴子温泉郷の存在は大きいことから是非考えてほしい。	総合支所機能が年々縮小されている実態はありますが、地域ごとの特有性を持ってよいと考えています。行政職員が、鳴子の広さや実態を本庁（古川地域）にいてもわからないというご意見を含め、今後検討していきます。また、岩出山地域でも同様のご意見がありました。
鳴子	地域	観光協会の世話をしている。観光交流課を鳴子温泉地域へと言いたい。観光客がかなり減少しているため、行政の後押しがほしい。リピーターを増やすためにも観光交流課は現場主義が基本だ。合併して9年目に入り、そろそろかじを切ってもいいのではないか。これまでは地域を均等・平等にという扱いだったが、ほころびが見えてきた。合理的平等、つまりデコボコのある平等でもいいのではないか。	現在、外国人観光客は国内で1,000万人を越え、観光庁でも訪日外国人2,000万人を目指して受入環境整備などの事業を進めており、これを受け入れられるような体制にしたいと考えています。なお、観光振興が新しい産業として必要だということは合併時の眼目でもあり、現地現場でしか分からない風土や文化もあるので、今後ご意見も参考に検討していきます。

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
鳴子	地域	宮城県議会議員10名程と懇談した際、市長・白鵬関・市民と一緒に温泉に入っている大崎市の観光ポスターに、なぜ「鳴子温泉」という名称を入れなかったのかと指摘された。大崎市というより、鳴子温泉のほうが世間一般に通用する。大崎市の名前をダイレクトにPRするよりも、鳴子温泉のネームバリューを使い大崎市のPRをしてもいいのではないか。また、大崎市において、全市的に一律に観光振興するよりも、観光は鳴子という扱いをしてもいいのではないか。各地域の特徴・特性を生かす道を考えないと他市に負けてしまうのでは。	東北の温泉各地に行ってみると、温泉自体は良いものの交通アクセスが不便で立ち寄って見るところが少ないと感じることも多いので、農林資源利活用の取り組みなどとのコラボレーションも視野に、積極的に提言していきます。また、平成26年～27年で「大崎市観光振興ビジョン」を策定する予定であり、鳴子温泉地域を特筆するものにしていくべきと考えています。
鳴子	地域	「みやぎ大崎観光公社」の位置付けはどのようなのか。	「一般社団法人みやぎ大崎観光公社」は、観光振興を通して市内経済の活性化を推進する民間観光旅行会社として、平成23年12月に正式設立されました。新たな視点から大崎市内の観光資源を見つけ出し、磨き上げ、商品化し、売出して行くことを使命に掲げ、旅行業第2種免許も取得し、行政では出来ない業務を補っています。
鬼首 鳴子	地域	観光産業支援や活性化などへの取り組みはどうか。	観光振興を通して市内経済の活性化を推進することは重要だと考えています。事例として「一般社団法人みやぎ大崎観光公社」は行政では出来ない業務も補っており、さらなる事業展開と他団体との連携が図れないか調査します。 【市議会だより第39号掲載】 なお、観光振興全般については、議会でも活発に議論されており、「大崎市産業振興計画後期計画」においても取り組みの重要性が明記されています。また、本委員会所管事務調査の一環として、鳴子温泉向山地区の現状と振興策についても調査しております。 ○平成26年11月5日現地調査実施 今後も魅力的な観光資源を最大限に活かせるよう取り組んでいきます。
鳴子	地域	観光交流課は本庁にあっていいが、鳴子温泉地域にも必要だ。産業経済部の予算は迷路であり、縦割りでなく現場からの整理が必要だ。観光振興で闘える体質にしなければならないのでは。	ご意見として伺います。

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
鳴子	地域	観光に行く目的は、何かを見ることがと、うまいものを食べることだ。鳴子峡の近くに住んで71年がたち、この間、鳴子峡の復旧工事をつぶさに見てきており全面復旧を待ち望んでいる。観光客からも「川の側を歩けないのか」「店はないのか」などと言われるので、早急に対策してほしい。	鳴子峡遊歩道については、今年も全面通行止めとなっているものの、①中山平側入口から回顧橋までの350m区間の整備作業が平成26年度で終了し、②日本こけし館側入口から花渕山側入口までの600m区間は、平成27年度の開通を目指し現在工事中で、③鳴子側入口は、平成27年度の工事完了後に安全が確認でき次第開通予定です。以上の整備より、鳴子峡遊歩道（鳴子側入口～中山平側入口）の総区間約2,600mのうち、平成27年度には不通区間950m以外で開通できるよう対策を進めています。 ○平成26年11月5日現地調査実施
鳴子	地域	鳴子温泉地域の目玉という鳴子峡だが、遊歩道の崩れ方に大きな危機感を抱いている。あの崩れ方は限界にきているのではないかと。どう見せるのか、行政が中心になってもう一度本気で考えてほしい。	ご要望として伺います。地域活性化の取り組み例として、大分県九重町のつり橋（九重夢大吊橋）は約20億円の事業で竣工し、通行料収益の一部を児童福祉に充てた例もありますので、鳴子峡遊歩道整備以外の方策も調査・検討していきます。 ○平成26年11月5日現地調査実施
清滝	地域	大衡村にトヨタ系のセントラル自動車株式会社があり、今度、栗原市高清水にも工場が来る。大崎市と企業の接点が少ないのはなぜか。また、なぜ清滝地区に企業誘致が出来ないのか。	議会でも、企業誘致に関して積極的な意見・提言が出されています。なお、大崎市はオーダーメイド方式で誘致しており、企業誘致の一環として北原工業団地も整備する予定です。ご意見も参考に、今後も誘致策についての取り組みを進めていきます。
西古川	地域	旧大崎市民病院本院跡地に、道の駅構想を考えているということだが、あの場所で道の駅の運営は大丈夫なのか。	全国には約1,030カ所の道の駅があるものの失敗例もあります。また、道の駅の機能として、現在では道路利用者の休憩施設機能や道路情報、直売所などの地域振興施設機能のほか、非常時の防災拠点機能が求められており、大崎市は跡地を防災拠点構想として整備することからの得ていると考えています。
西古川	人口	女性や若者が働きやすい環境を整えるために、保育所の充実や働きやすい企業の誘致などが必要では。	市では、待機児童の解消や子ども医療費助成、預かり保育などの環境整備をはじめ、女性や若者が生活しやすい環境づくりを進めているところですが、ご意見も参考に努力していきます。 企業誘致については、大企業の誘致とはいかないものの進んでおり、現在の工業団地地区画は一杯になったために、新たな団地の整備に取り組まっています。
西古川	地域	農業経営は大規模化しているが、新規就農者への育成支援をさらに図るべきでは。	国・市でも、各農業支援施策や新規就農者支援に努めています。今後も農政大転換の動きに注視しながら、市独自の農業支援を図るよう議論していきます。 【市議会だより第39号掲載】
西古川	地域	農業振興の上で、基盤整備や集約化を一層進めてほしい。	基盤整備推進には同意率が重要で、地区のまとまりが大切です。整備後には、各事業展開も図れるので、一層推進すべきと考えています。 【市議会だより第39号掲載】